

令和元年 10月 11日

三田市長 森 哲男 様

三田市立上野台中学校PTA

会長

同 教育環境整備検討委

委員長

教育環境整備に関する要望書

仲秋の候、貴職におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。
平素から上野台中学校の教育施設整備に、格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。
さて、これまでにも要望しておりますとおり、学校駐車場（ファミリーマート横）の確保を
本年度も引き続き要望いたしますので、ご検討いただきますようお願い申し上げます。
それとあわせまして、本年度も通学路における危険箇所の改善
又、登下校時のバスの運行時刻変更のご検討をいただきますよう宜しくようお願い申し上げます。
令和元年 10月 1日のバスダイヤ改正後に伴う支障につきましても詳細をまとめ要望を作成
致しました例年の要望とあわせましてご検討頂きますようお願い申し上げます
なお、要望書の回答につきましては、文書にて下記連絡先へお願いいたします。

連絡先

三田市志手原1145番地

三田市立上野台中学校PTA事務局

電話 079-563-0234

FAX 079-563-0203

要望書

1. 学校駐車場の確保について

現在、学校敷地とファミリーマート志手原店の間にあります私有地を市で借り上げて頂き感謝申し上げます。

上野台中学校の立地条件から保護者は車での来校が非常に多く、学校行事等の際駐車場の確保は必須条件になります。

引き続き学校用地としての駐車場確保をお願い致します。

2. 学校通学路の整備について

生徒が毎日通学している道路の中で歩道がない等、危険箇所があります。以前より要望しております、上野台中学校～兵庫中央病院までの安全な通学路の速やかな確保をお願い致します。

この区間は、車の交通量が多く幅員が狭い道路で路肩も狭いため通行するのに大変危険な状態です。危険なため迂回をして県道有馬富士公園線経由で通学している生徒もいます。

現在グリーンベルトが設置されていますが、歩道の設置などより安全に通学が出来るよう要望致します。

3. 下校時のバスの運行時刻について

小野、乙原、母子方面のバスの時刻が昨年度は 15:52 でありましたが、今年度は 15:47 と 5 分早くなりました。

それにともない、様々な方向から先生方が検討された結果、給食の時間を短縮し対応している状況です。上野台中学校の給食時間から休み時間を含め他校と比較し 10 分少なくなっております。

時間内に食べ終わる事が出来ないので給食の量を減らしている生徒がクラスに数名いると聞いております。

又、準備から喫食、片付けまでの時間が短いのでゆっくりと食事をする事が叶わず、苦痛を感じる生徒もおります。

今年の体育祭では土日祝日の小柿行き 16:17 が廃止されたため小柿行き 15:17 に合わせ終了時間を調整する事となりました。

その為、先生方が例年のプログラムから競技時間の削減や一部演目を外す等の苦渋の対応をされていると伺っております。

PTA 合同委員会では、例年行われていた演目をどうにか残せないかと意見が出ましたが叶いませんでした。

三田市内の他の中学校と同様の授業時間を確保出来る様、バスの運行時刻の調整もしくは学校行事に合わせた臨時バスの運行を要望致します。

バスで通学する生徒が多数在籍しているため、部活動の活動時間が他校より短くなっております。

十分に部活動の時間が確保できる様、バスの時刻調整を併せて要望致します。

バスの運行については、バス業者との連絡を密にとり登下校に影響のある時間帯でのバスの運行時刻の調整については、教育委員長はもちろん市長部局、学校、保護者及び地域に対して周知し、議論の場を設けて頂きますよう要望します。

ダイヤ改正に伴う支障への対応についての要望書

上野台中学校校区の多くは山間部に位置しており豊かな里山の中にあります。子供達は美しい里山で育ち、それぞれの幼稚園、小学校で地域の方々やお年寄りの交流を通し里山で生活する先人の知恵と愛情を受け中学生へと成長しました。収穫の時期には稲刈りを手伝う子供もおり、家族を助ける姿に誇らしい気持ちでいっぱいになります。

三田市の魅力は二つあり、一つ目は美しい里山と自然豊かな農村部、二つ目はショッピングモールや整えられた住宅地を有するニュータウンがあり、それぞれがともに一体となって現在の三田市の繁栄があるのだと感じております。今後もそれぞれの特徴を生かし子供達の成長とともにさらに魅力のある街へと発展して行く事と期待しております。

今現在、農村部の子供の数が著しく減少しており三田市の行政や職員の方々によりよい学校のあり方や今後のまちづくりを地域とともに尽力されていると存じます。

そのような中、先般のバスの減便による深刻な問題が出て参りました。中学校区の各地区の保護者からも今後の統廃合や市民生活にも影響するとの懸念の声が上がっております。

この度の件では該当地域の各地区長、携わる市の職員の皆様が一丸となって対応して下さいました結果、無事に波豆川地区の子供達が登校出来ている事を感謝申し上げます。しかしながら、新聞報道にあるようにメールの返信を忘れこのような事態となった事で市に対して保護者や地域住民が不信感を感じ、また、子供達が通常の時間に登校出来ない動揺、部活が出来なくなる不安を感じていることは間違いありません。

減便などのダイヤ改正がある毎に、教職員の方々が学校の始業時間、終業時間、行事、部活の終了時間を考え対応しなければならず、貴重な時間と労力を調整に費やしてしまうことも改めなければなりません。

今後同じ問題が繰り返し起こらない為に、学校の登下校、部活時間を基準にバスの時刻を調整して下さいよう切に願います。

市には子供達の学ば権利を守って頂き、三田市内の他校の水準に合わせて頂きたいと願っております。

未来の三田を担う子供達のために何卒よろしくお願ひ申し上げます。

10月1日のダイヤ改正により、22系統（上り）波豆川発三田駅行き6:52、7:14の2便が一本化され6:54となり、21系統（下り）三田駅発小柿行き、上野台中学校前発16:12、16:37の2便が一本化され16:22となりました。

9月28日19:00より波豆川公民館にて波豆川線10月1日ダイヤ改正に伴う支障への対応についてと題し三田市教育委員会、交通まちづくり課、都市政策課の職員5名の方々が説明に来られ、波豆川区長、上野台中学校PTA会長、地域の方約20名との協議の結果、朝の1便が減便になった対応として当面の間はタクシーで木器のバス停まで児童を送り、木器にてバスに乗り換え登校する事となりました。

朝の便については、具体的な対応策が示されましたが、冬季時程の部活動終了後に乗車するバスの件は具体的な改善策は示されていない状況です。

この説明会で、上野台中学校の生徒への影響だけではなく私立中学校に通学する生徒や、高校生、高平小学校、高平幼稚園に通う子供達にも多大な影響がある事が明らかになりました。

やがて小学生の子供達は中学生へ、中学生の子供達は高校生になります。子供達が安心して学べる環境をまずは登下校の交通手段から整えて頂きたいと要望致します。

上野台中学校より数年に渡り要望書を市に提出し駐車場の確保、通学道路の整備、バスの運行について改善を求めています、三田市教育長から要望書についての回答を頂いておりましたが、特にバスについては改善されておらず過去5年間の間に悪化の一途をたどっております。…参考資料1、2

バス事業者による調整が困難で改善の見込みがないのであればスクールバス等その他交通手段のご検討をお願い致します。

交通手段が整わない為に授業時間が削られ、10月1日のダイヤ改正により小柿方面に帰宅する生徒達が冬期の時程で部活が出来ない事態となっております。16時22分発では部活活動時間が教室から部室へ移動し着替え準備を含めバスに乗車するまで約37分しかありません、17:37に乗車すると日が暮れ暗い道を帰宅しなければならずとても危険です。

上野台中学校に通う生徒達が、バスの時刻に左右されず三田市内の中学校と同等の授業時間、部活時間の確保が出来るよう要望致します。…参考資料3

参考資料 1

要望書への回答（バスについてのみ抜粋）

平成 29 年 3 月 6 日回答

平日での部活終了下校に合わせたバスの増便又は延長及び乗り継ぎ便の検討について

ご要望の内容について、当該路線を運行しておりますバス事業者にも再度確認致しましたが、当該路線バスは一般の乗客も利用する公共交通機関であり、部活終了下校時に合わせたバスの運行につきましては、定時制確保の観点により対応は困難であるとの見解でした。また、増便や母子方面及び波豆川方面への路線延長または乗り継ぎ便についてですが、本市で補助金交付要綱に定める基準に基づき、小中学校の通学に利用されている路線には事業者に対し運行経費を補助し、路線維持に努めているところでありますが、年々バス利用者が減少傾向にある中、事業者としても路線維持が大変厳しい状況であり、路線延長等を実施することは困難であるとの見解に変わりはありませんでした。

市では、今後、公共交通機関の利用状況を把握するとともに、地域や利用者のニーズを調査しながら、公共交通ネットワークづくりを推進する事で、市民の皆様の移動手段の確保と利便性の向上に努めて参りますのでご理解いただきますようお願い致します。

平成 30 年 3 月 22 日回答

平日での部活終了下校に合わせたバス増便又は延長及び乗り継ぎ便の検討について

部活動終了後に合わせたバスの運行につきましては、当該路線を運行するバス事業者にこれまでから要望を行っているところですが、対応が困難であるとの見解でした。

また、増便や波豆川方面、母子方面への路線延長または乗り継ぎ便について、本市では小中学校の通学に利用されている路線に対しては、補助金交付要綱に基づき、事業者に対して運行経費を補助し路線維持に努めているところであり、バス利用者が年々減少傾向にある中、事業者としても路線維持が大変厳しい状況であり、路線延長等の実施は困難であるとの見解でした。市では現在、公共交通網形成計画の策定に向けて、地域交通活性化協議会を設置し、市内の現状や課題、地域・利用者のニーズの把握、分析を進めているところです。引き続き、公共交通ネットワークづくりの取り組みを進め、市民の皆様様の移動手段の確保と利便性の向上に努めて参りますのでご理解いただきますようお願い致します。

参考資料 2

平成 31 年 3 月 29 日回答

平日での部活終了下校に合わせたバス増便又は延長及び乗り継ぎ便の検討について

部活動終了下校に合わせた運行や増便、波豆川方面、母子方面への路線延長、乗り継ぎ便について、本市では小中学校の通学に利用されている路線に対しては、補助金交付要綱に基づき、事業者に対して運行経費を補助し路線維持に努めているところです。

事業者には要望を伝えていますが、運転手不足等により、事業者としても路線維持が大変厳しい状況であり、該当路線の延長、増便等の実施は困難であるとの見解です。今後も引き続き、事業者には要望していきます。

参考資料 3

〈上野台中学校の現在の時程〉

朝の出欠確認 8:25

ホームルーム終了 15:45

部活終了(夏期) 17:40から17:45

部活終了(冬季) 16:40から16:45

〈望ましい登下校時間〉

登校 8:10

※教室に入り落ち着いて準備が出来る。

部活朝練参加者の登校 7:30

下校 15:50

下校時のバスへの乗車 16:00から16:10

※ホームルーム終了後慌てずに帰りの準備が出来る。

部活終了(夏期) 18:00

部活終了(冬季) 17:00